自然素材の安心・健康リフォーム

エコバウ・リフォーム

ecobau reform

12月号

新建材と集成材の恐怖・ガス死する家とは。

新建材とは木を粉々にして接着材で固め その上に不燃印刷した塩化ビニールを貼り 本物の木に見えている材料で、集成材とは異種の木材を接着材で貼り合わせた材料です。これらの物は安価等に多く使われていますが、これらを燃焼した際に発生するダイオキシンが問題なのです。もし住宅が火災に合っている時、逃げ遅れる人々の大半が、焼死ではなく ガス中毒死しているのです。

よく ビニールや プラスチック類を燃やした時 ツーンとくる臭いを思い出。これと同じ状況が 火災時室内で起こっているのです。

（接着材が人体に及ぼす悪影響は、10月号、11月号をご参照下さい。）

一見、無垢の材料に見えたとしても…

新建材の正体を見破ろう！

表面の木目プリントを剥がせば見たことのない材料が…
シックハウスの原因とされる新建材正体

リフォームの時には、

左の様な接着材で固めた合板物はやめて、本物の無垢材に替えましょう

結露対策に一役・漆喰塗壁

塗り壁・漆喰壁の特徴を言えば まず その調湿性です。
新建材の家でよく問題になるのが 結露ですが、この結露を防ぐことが カビ、ダニの発生を防止します。
健康天然自然素材の漆喰壁、塗壁であれば湿度が高い時 余分な水分を吸収し、逆に湿度が低い時は、水分を放出するので 室内の湿度を一定に保つのです。
これは、天然素材 特有の多孔質（細かな空洞）が複雑に入り込んだ構造になっているためで、その粒子の空洞が室内の余分な湿気、有害物質を吸収、分離 室内空間を快適にしてくれます。

―結露効果―

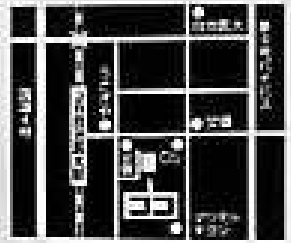
- 空気の流れ（換気）を工夫する。（窓の開閉部分の隙間に結露が発生）
- 開放型暖房機を使用しない。（石油ファンヒーターは その約70%が水分）
  FF式に変更する。→オイルヒーター・循環型ストーブ なども暖房も効果的です。
- 外気と内気の温度差対策（断熱ガラスなどが有効です。）
- 室内の湿度コントロール（天然素材を活用しましょう）

現在の塗壁、漆喰は、塗った後の割れを防止するため 合成樹脂を混ぜているものが多く、特に経年上は 自硬性がないため、せっかくの多孔質も その合成樹脂が、詰め込み 効果が期待できないものが、非常に多いので 注意が必要です。

只今施工中

シックハウスでお悩みのお客様宅にて、スイス漆喰及：カルクウォーレ
ドイツ：ウッドチップ入壁紙施工中。詳しくは、次回1月号でご紹介します。

ECOBAU REFORM
リフォームアップル自治医大店

■リフォームアップル自治医大店
〒329-0434 栃木県河内郡南河内町祇園1-20-1 ☎0285-44-8208（fax兼通）
お問合せ：料金無料のフリーダイヤルで 0120-393-897
■アップル建築設計事務所 〒329-0101 下都賀郡野木町友沼5490-6 ☎0280-57-4067
※ホームページでビフォー→アフターを多数ご紹介しています。ぜひご覧下さい。

URL http://www.reform-apple.com　E-mail info@reform-apple.com